

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生の多様な進路希望に適切に対応するために設けたコース制の充実や職業教育導入のための方策を検討する。	→ 「コース制についての満足度調査等の独自アンケート調査の実施状況」「選択したコースと卒業後の進路の対応状況」「新入生オリエンテーションでの説明時間数やコース選択前オリエンテーションへの出席者数」「コース制についての周知実績(独自パンフレット作成の有無等)」「職業教育関連科目の有無・科目数」	B	A	A		
2. 少人数教育のための演習科目を充実させる方策を検討する。	→ 「演習科目についての満足度調査項目を含むアンケート調査の実施状況」「選択必修ないし選択制の演習科目(研究演習・人文演習等)の履修率」「演習科目の効果的な再配置と新設の検討状況」「1年次配当の演習科目(基礎演習)における初年時教育の内容」「学内や他大学の演習クラスとの合同による研究演習の実施数」「新入生オリエンテーションでの説明時間数やゼミ選択前のゼミ説明会への出席者数」「演習科目についての周知実績(独自パンフレット作成の有無等)」	B	A	A		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	理念・目的は設定されている。目標1は、理念目標という項目の趣旨と齟齬があり適当ではない、ということは、昨年度にも確認されているが、この目標自体は、カリキュラム改革によって実現されている。
☆ 目標2	理念・目的は設定され、公開され、定期的に見直す体制が確立している。目標2は、理念目標という項目の趣旨と齟齬があり適当ではない、ということは、昨年度にも確認されているが、この目標自体は、カリキュラム改革によって実現されている。
備考	上記のような事情にあるが、理念目的の総合的な整備や定期的見直しの仕組みの制度化は、2011年度に準備し、2012年度には制度化が完成する予定である（なお、2012年度上期（執筆時点）で、具体化されている）。